４　災害時に派遣される支援チーム（熊本地震を参考に例示）

|  |  |
| --- | --- |
| チームの種類 | 役割 |
| ＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム） | ・被災現場での救急治療、がれきの下での医療  ・被災現場から医療機関への患者搬送時の診療など |
| ＪＭＡＴ（日本医師会災害医療チーム） | ・地域住民の医療、健康管理、公衆衛生対策など |
| 公衆衛生支援チーム  （公衆衛生医、保健師、薬剤師、獣医師、管理栄養士等で構成されたチーム） | ・保健所の保健衛生活動の支援など  ＊平成２９年度から厚労省においてＤＨＥＡＴ（災害時健康危機管理支援チーム）構想で検討中 |
| 日本看護協会災害支援ナース | ・被災者の健康管理や健康相談、感染症予防活動など |
| ＤＰＡＴ（災害派遣精神医療チーム） | ・被災者のこころのケアに関する支援など |
| ＪＤＡ－ＤＡＴ（日本栄養士会災害支援チーム） | ・被災者の栄養に関する相談や指導など |
| 歯科保健医療チーム（歯科医師会及び歯科衛生士会で構成） | ・被災者の歯科診療や口腔ケアに関する相談指導など |
| ＪＲＡＴ（大規模災害リハ支援関連団体協議会）等リハビリチーム | ・被災者の生活不活発病による機能低下の防止に関する活動など |
| ＤＣＡＴ（災害派遣福祉チーム） | ・避難所等における高齢者・障害者のケアに関する支援など |
| その他（上記以外で、熊本地震で活動された主な医療チーム等）  ・ＤＭＡＴロジスティックチーム　　　・日本集団災害医学会  ・日赤救護班　　　　　　　　　　　　・知事会救護班  ・独立行政法人国立病院機構医療班　　・ＨｕＭＡ（災害人道医療支援会）  ・ＴＭＡＴ（徳洲会災害医療チーム）　・国境なき医師団  ・ＡＭＤＡ（認定特定非営利活動法人アムダ）  ・ＡＭＡＴ（全日本病院協会災害時医療支援活動班）  ・ＪＣＨＯ（独立行政法人地域医療機能推進機構）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（参考：Ｈ２８熊本地震　医療救護活動報告書） | |